

公表：平成 31年 4月 1日

事業所名 児童発達支援事業所 めばえ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓			基準の広さは満たしており、幼児と小学生の活動場所を分けています。	
	② 職員の配置数は適切であるか	✓			児童指導員等加配体制(Ⅰ)(Ⅱ)を適用し、職員を基準より多く配置しています。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか			✓		玄関前に段差があるので、そちらの改修工事を今夏に予定しています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	✓				
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	✓				
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	✓				
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	✓			HPに掲載させていただいています。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	✓			一般社団法人の団体による実態調査を受け、業務改善につなげています。	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓			常勤・非常勤の職員が外部の研修に参加しています。	
適切な 支援の 提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	✓				
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	✓				
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	✓				

⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	✓					
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓					
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	✓				年齢分けをしたクラスによって活動内容は異なっています。英語、習字、体操の時間を設けたり、固定化しないように工夫しています。	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	✓					
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	✓					
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	✓					
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓					
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	✓				月1回の各クラスによる会議でモニタリングを行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓				
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	✓				
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					該当なし
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					該当なし
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	✓				お互いの施設での様子を見学したり、ケース会議を行っています。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	✓				長期休みなどに学校の先生に来ていただいて、めばえの様子を見ていただいたり、情報の共有を行っています。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	✓				
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	✓				個人情報の取り扱いもあり交流は難しいので、現状では夏祭りや公園での交流となっています。

	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	✓			「札幌市自立支援協議会 東区地域部会 子ども部会」に事務局として参加しています。	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓				
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか			✓		今後、ペアレント・トレーニング等の家族支援を行えるように検討します。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓				
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	✓				
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓				
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			✓		保護者会などはありませんが、夏祭り時に保護者様どうしで交流する機会を設けています。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓				
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓				個人情報に配慮し、活動内容をHPIに掲載しています。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	✓				
	③⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓				
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	✓				夏祭り開催時には地域住民の方々にも参加していただいています。
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	✓			
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	✓				避難訓練を年に1回行っています。
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	✓				

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	✓				
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓				
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓				
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	✓				

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表:平成 31年 4月 1日

事業所名 児童発達支援事業所 めばえ 保護者等数(児童数) 52 回収数 43 割合 82 %

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	41	2			リズムなどを行う為のスペースが十分に確保されている。	
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	40	1		2	先生がたくさんいて安心できる。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	41			2	みんなが見えるところにイラスト付きの時間割があつて分かりやすくしているの、生活リズムを理解して自ら行動できるようになった。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	43				おもちゃなどは片づける場所があり、視覚の邪魔にならないように配慮されている。	
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	42			1	電話相談や面談にも対応する細かな配慮がある。保護者の意見を聞いて話し合ってくれる。	
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	39	1		3	連絡ノートなどで子どもの成長具合や取り組みを知ることができる。支援計画の見直し時期には、具体的な提案と課題が書面で提示される。	
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	40	2		1	無理のない範囲で子どものペースを見ながら行われている。	
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	30	4		9	ある程度パターン化されている方がいいと思う。	子どもの特性上、一定の活動はパターン化されていますが、その子どもに合わせた活動を取り入れています。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	7	9	19	公園で交流があるようです。夏祭りでは他児の兄弟と交流ができる。	個人情報の取り扱いもあり交流は難しいので、現状では夏祭りや公園での交流となっています。
保護者への説明等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	42	1			契約時に説明があり、安心できた。	
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	39	3		1	今後の計画について必ず書面で提示がある。	
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	25	5	3	10	夏祭りを行っている。	
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができてきているか	40	3			電話、メール、連絡ノート面談と対応してもらっている。連絡ノートが家での方に関わり方に活かすことができている。	

	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	36	3	2	2	親身に話を聞いてくれて、親が助けられている。	
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	11	8	16	夏祭りできっかけ作りをしてきている。保護者同士の付き合いは必要ないと思う。	保護者会等は現状、開催できておりません。今後必要な時には考えていきたいと思えます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	40	1		2	毎日の連絡ノート以外でも迅速に電話対応してくれる。急な帰宅などに柔軟に対応してくれる。	
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	43				毎日の連絡ノートで知らせてくれる。電話対応してくれる。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	27	1	2	13	HPで活動報告や子どもたちの作品が公開されている。行事は事前に書面でお知らせがある。	HPで活動の報告をしていますので、保護者の方々に周知していきます。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	40	1		2	しっかり管理されている。	
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	28	5		10	最初に説明を受けている以外分らない。地震などで不安なので月1回訓練があればうれしい。	マニュアルは療育室に掲示してありますので、保護者の方々に周知していきます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	24	1		18	定期的に行われている様子が連絡ノートやHPで記載されている。	年に1回、避難訓練を実施しています。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	40	2	1		外でお迎えを待つほど楽しみにしている。帰宅後もニコニコしている。	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	39	4			言葉やコミュニケーション能力が伸びて満足している。身の回りのことを自分でできるようになった。	

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。